

平成23年9月16日

魔法のふでばこプロジェクト 状況報告

長野養護学校 朝陽教室 内田潤一

1 今年度のiPadの活用目標と活用状況

(1) 「自分の身体の動きを視覚的に理解する」

- ・総合的な学習の時間で「和太鼓演奏」、作業学習では「喫茶サービス」に取り組んでいる。生徒によっては、和太鼓の構え方やバチの振り上げ方、喫茶サービスのお辞儀や優雅な動きをイメージできない生徒がいる。これらの生徒にiPadで撮影した静止画や動画をTACTICSVIEWなどのアプリを使い、角度や動作を画面に線などを書き入れながら自分の身体の動かし方を視覚的に伝えることで、整った形の動きを目指している。

(2) アプリケーション 利用しているもの、インストールしているもの

○TACTICSVIEW

- ・視覚的に自分の動きがわかり、色つきの線で身体の各部位の動きのポイントを示せるので、言葉で伝えたり、鏡で見るよりもわかりやすく、映像のため後ろ姿や側面から客観的に見ることができるのでよい。
- ・喫茶サービスの際に笑顔作りで口角の角度を画面に線を書き入れることで、言葉やモデル以外の方法としてわかりやすく伝えられる。
- ・バスケットボールのクラブ活動などで、個人の動きや戦術を伝えるために役立っている。

○太鼓の達人プラス

- ・リズム感と手の動きを連動させるための運動やモチベーションを上げるために使用し、生徒も楽しんでいる。

○リズムシ

- ・シンプルな映像で刺激も少なく、リズムを養ったり、楽器が手元にないときに使用している。

○トレナビLITE      ○バスケットボール（作戦盤）